

久慈地方乾しいたけ流通・販売実態調査について

1 はじめに

福島第一原発事故に伴う放射性物質の食品への影響が騒がれている中、9月に静岡県の日椎連で開催される岩手県特別入札会に合わせて、久慈地方乾しいたけ産業振興協議会の9名とともに、3箇所で行った流通・販売実態調査を実施しましたので報告します。

2 いわて銀河プラザ

いわて銀河プラザでは、一関の香信、宮古の冬菇、久慈のスライスを販売しており、放射能問題の影響もあまり感じられず、幅広い年齢層で売れている一方、入荷が少なく品薄気味の状況でした。久慈はパッケージに消費者向けの工夫が必要だと感じました。



写真1 いわて銀河プラザでの販売状況

3 日本椎茸農業協同組合連合会

日椎連の岩手県特別入札会では、久慈地方産を中心に、例年の半分以下の439ケース出品で、21社が入札参加しました。

日椎連が行った放射能検査結果を示しての入札でしたが、平均3,777円/kg、昨年比20~30%減の状況。予想していたとは言え、生産者のショックは大きかったようです。

買い方との意見交換では、産地の全量検査

を求められ、産地からは抽出検査の結果を示しながら、一生懸命がんばって安全なものだけを出荷していることを説明しました。



写真2 日椎連岩手県特別入札会の入札状況

4 イトーヨーカ堂

イトーヨーカ堂の本部を訪問し、首都圏の120店舗で販売している久慈地方産乾しいたけの検査結果を報告し、消費者に対し安全・安心できることを説明しました。この日は、本部で実施した久慈地方産乾しいたけの料理試食会で、理事全員から高い評価を頂き、11月に埼玉県の高喜店で開催される岩手県フェアの出展依頼を受けました。



写真3 イトーヨーカ堂本部

5 今後の対応

今後は、国が示した放射性物質の指標値に対し、安全・安心な製品だけを提供できる体制づくりに取り組んでいく予定です。